

西馬譯

山雞奇縁

三編上

へ 13  
3679  
3





門 へ 13  
3679  
3



西馬

譯

芳網

画

連理翅

三編上

山雞奇縁

紅英堂葎販

廿五

一

義笠翁の著述數部ある中近頃發行の犬土傳これ數編能續これ  
 四方小晋の感賞を次々引張月も又六編より満尾せし色一の程よ  
 綿史の書讀止の妙案尋とあり此月氷奇縁の大人小説冊子は  
 初述の目録未だ大意をせんといふれどもその文章婦幼小解しめ  
 讀癖あり是を俗言小書替て書賈は需小去年一二編を上梓せし  
 幸ふく部敷より出るとも猶次編の催促頻ありとて今三四編の  
 稿を兎も五編より大尾あるん秋他の永物語と違ひらう五編は首尾  
 成し六編の虎の的着る奇麗を表紙を飾らう山雞永當年由相くも  
 向水め給つる曲馬の馬の太鞍ふらふや彫りやぐらと板元の丁推し時花の拾せし  
 合せげららる口画の半丁桃色の肩衣うけお定人の坐附をのめ口序さあうし

嘉永六年癸丑孟陽新鐫

樂亭西馬題













まあて  
 うらやま  
 のあはれ  
 とあはれ  
 山鏡



あはれ  
 うらやま  
 のあはれ  
 とあはれ  
 山鏡

































芳綱画

外國芳画題

二編下

元版 葛吉





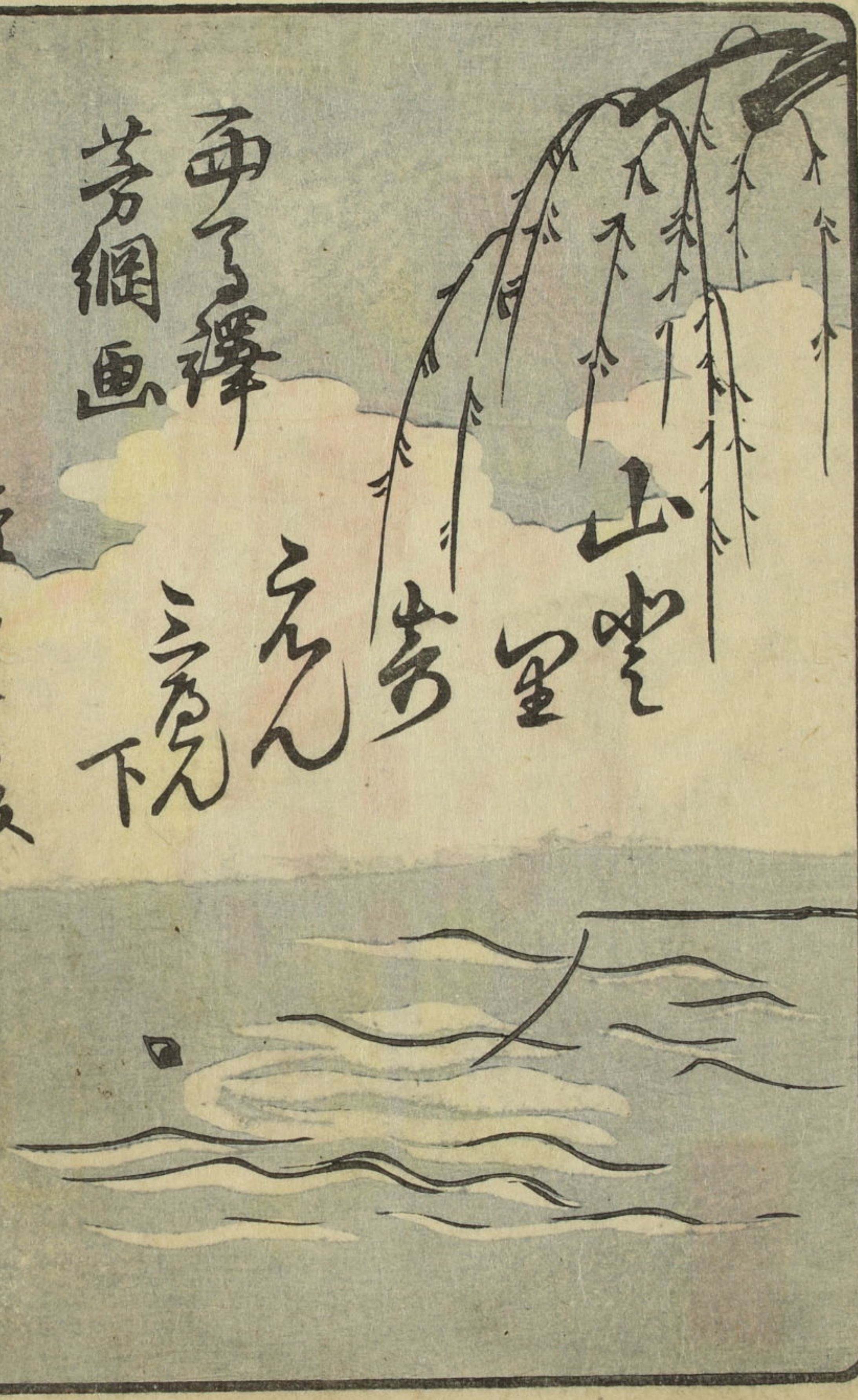


西了釋  
芳網画

法多士口板

三乃元  
下院

山堂  
芳里











植村徳忠

Handwritten Japanese text in vertical columns, located above the illustration on the right page.



Handwritten Japanese text in vertical columns, located above the illustration on the left page.

Handwritten Japanese text in vertical columns, located on the left margin of the left page.

Handwritten Japanese text in vertical columns, located on the left margin of the left page.





舞手夫人

此の舞は古くは  
 大和の國にあり  
 今もその風習  
 ありてはなほ  
 見ゆべきなり  
 舞の形は  
 古くは  
 大和の國にあり  
 今もその風習  
 ありてはなほ  
 見ゆべきなり



此の舞は古くは  
 大和の國にあり  
 今もその風習  
 ありてはなほ  
 見ゆべきなり  
 舞の形は  
 古くは  
 大和の國にあり  
 今もその風習  
 ありてはなほ  
 見ゆべきなり

此の舞は古くは  
 大和の國にあり  
 今もその風習  
 ありてはなほ  
 見ゆべきなり  
 舞の形は  
 古くは  
 大和の國にあり  
 今もその風習  
 ありてはなほ  
 見ゆべきなり















とれつもの... 勝午

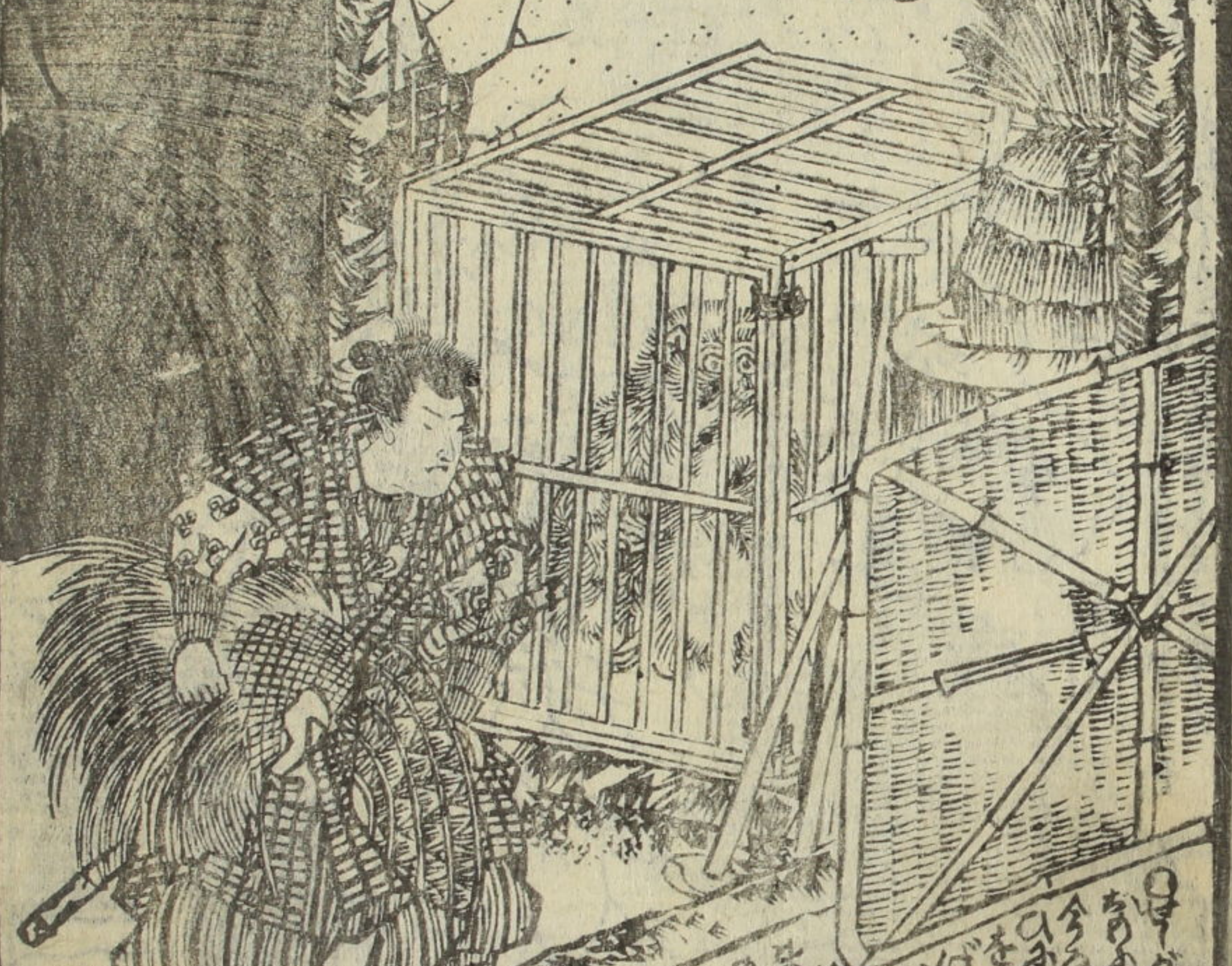


勝午

倭文

主前... 次郎

△かん... 父の



翁之伴

あつち... 母の















